



柴田かつゆき

しばかつ通信 第021号(2026.4.13)



令和8年特別国会の論点 -暮らしと人権にかかわる4つの法案-

▶▶▶詳細は裏面へ

国政の状況

2月8日の衆議院総選挙のため、令和8年度予算案は例年より約1ヶ月遅い2月20日に提出されました。

高市内閣は例年どおりの年度内成立を目指し、野党の反対を押し切り3月13日に衆議院を通過させましたが、少数与党の参議院では強行採決はできず、4月7日に予算成立となりました。

中道・立憲・公明の3党は、2月28日に始まった米国・イスラエルのイラン攻撃による原油高騰等に対処する予算修正を求めましたが受け入れられませんでした。

3月19日には日米首脳会談がありましたが、ホルムズ海峡周辺への自衛隊派遣に関する会談内容の詳細は野党の求めにもかかわらず明らかにされていません。



活動報告(3/12~4/12)

衆議院選挙後はじめての「しばかつ通信」20号を発行し、朝の駅頭活動などでお配りしました。

「江戸川区特別支援学級・学校進路フェア」では、誰も取り残さない教育と福祉を目指した、関係者の皆様のご尽力に感服しました。

共育プラザで活動する中高生の運営による「10代の挑戦EDOGAWA」、フラワーガーデン・富士公園のリニ

ューアルオープンを記念した「ブルームセレブレーション」や地域のお花見などにもお伺いして、みなさまと楽しい時間を過ごさせていただきました。

弁護士としての活動にも力を入れ、死刑や犯罪者処遇に関する研修会、選択的夫婦別姓の院内学習会、第二東京弁護士会の100周年記念式典、小津博司元検事総長との懇談会などにも出席しました。

「チームしばかつ」メンバー大募集

柴田かつゆきへの応援をお待ちしております！
まずは公式LINEで「しばかつ」最新情報を受け取っていただくだけでもうれしいです！！後援会やボランティアへのご参加も募集しております。

公式LINE



X (Twitter)



例年1月から6月には通常国会が行われますが、今年には通常国会の初日に衆議院が解散され総選挙となったため、特別国会として開会されています。

【健康保険法等改正案】

妊娠・出産支援の強化、子育て世帯の負担軽減、後期高齢者医療の保険料等への金融所得の反映、高額療養費の自己負担額引上げ(令和8年度予算で認められました)にあたり患者の家計への影響を考慮することなどが盛り込まれました。

問題は、「OTC類似薬」の薬剤費の一部を保険外(自己負担)とする制度の導入です。子ども、低所得者、難病・慢性疾患の患者などへの配慮を検討していますが、**「健康保険制度の持続可能性」を理由に医療の安心が削られることがあってはなりません。**

【防災庁設置法案】

令和8年中に、事前防災から災害時の対応を経て復旧・復興までを一貫して担う「防災庁」を設け、「防災大臣」を置くという法案です。

災害担当官庁を一つにまとめて体制を強化し、経験・ノウハウの蓄積もしやすくすることには賛成です。これが形だけにならないよう、**人員・権限や、自治体・現場との連携が十分か**をしっかりと見ていく必要があります。

【国家情報会議設置法案】

政府のインテリジェンス(諜報)機能を強化するため、首相を議長とする「国家情報会議」を設置し、内閣情報調査室を格上げして「国家情報局」として、公安調査庁・警察・防衛省など諸組織の情報を統合する機能を持たせるという法案です。

公安調査庁や警察が国民のプライバシー権などを侵害したとされた裁判例は複数あり、**国際的にもインテリ**

ジェンス組織が人権を侵害しないよう監視監督する機関の設置が原則とされていますが、政府はそのような機関の設置は不要としており、諜報機能を強化する一方で人権侵害の危険を軽視する姿勢は問題です。

【再審法改正案】

袴田事件・福井事件などの再審無罪事件では、検察官による証拠隠しや、再審開始決定への不服申立(抗告)が長期化の原因となりました。その教訓から「えん罪被害者のための再審法改正を実現する議員連盟」では、「証拠開示の拡大」と「検察官抗告の禁止」などを定めた再審法改正案を作り、野党議員からの提案として(私も提案者の一人になりました)昨年提出しましたが、衆議院の解散によって廃案になりました。

政府が提出予定の改正案(4月13日現在)は、証拠開示を制限し、検察官抗告も認めており、えん罪の早期救済という再審法改正の目的に逆行しています。

【中東情勢への対応】

米国・イスラエルのイラン攻撃に起因する、原油とナフサなど関連製品の不足・価格高騰は深刻です。またランプ大統領など米国政府の関係者からは、日米首脳会談で、高市首相が何らかの形での自衛隊派遣を約束したと受け取れる発言も出ています(政府は国会質疑でも会談内容の詳細を明らかにしていません)。

政府に対しては原油の安定供給や事態の早期沈静化に向けた外交努力に加え、国民の暮らしを守る緊急対策も求めていく必要があると考えます。

特別国会は7月17日まで続く予定です。

国会での議論は、私たちの暮らしや人権にも大きく関わります。これからも、できるだけ分かりやすくお伝えしていきますので、ぜひご関心をお寄せください。

柴田かつゆき プロフィール

1968年10月生まれ。開成中高・東大法学部卒「困っている人を、助けたい。」との想いから弁護士となり、今年で31年を迎える。司法研修所刑事弁護教官、第二東京弁護士会副会長などを務めた。刑事事件の弁護人などの経験から国会議員を志し、2024年10月の衆議院選挙で初当選。2026年2月には落選し、次回選挙を目指して活動中。政治信条は「社会保障立国」「利権より人権」「トリクルアップ経済(「下から」の経済成長)」

編集後記～スタッフKのひとりごと

みなさまは、お休みの日は何をされていますか？私は最近、デジタルデトックスになるようにミステリー小説を読んだり、スーパー銭湯に行って温まったりして過ごすことが増えました。実は、スマホの履歴を確認してみたところ、仕事のチャット通知が1日200回であることがわかりました。(事務所以外も含めです！)2030年度からのデジタル教科書の正式採択も閣議決定され、10年後・20年後はどんなデジタル社会が到来するのでしょうか。姿勢と視力の悪化だけは防ぎたいと思いつつ、猫背でキーボードを叩いています…。

◀◀◀公式サイトはこちらから



〒134-0091

柴田かつゆき事務所

東京都江戸川区船堀1-4-10 第2乙女屋マンション 604

TEL 050-8886-1651 / MAIL office.kshibata@gmail.com